



## PPG、アメロン社の塗料事業を買収、ドンジュ社の株式保有率を100%化し、塗料の年間売上高を約4億ドル(約440億円)アップへ

【ピッツバーグ、2006年6月29日(ビジネスワイヤ)】

ピーピージー・インダストリーズ(PPG)は、アメロン・インターナショナル・コーポレーション(Ameron International Corporation、本社:米国カリフォルニア州パサディナ)のパフォーマンスコーティング事業を買収することに合意した。買収は、必要とされる監督官庁の認可取得(30~45日以内=予想)など通常の手続完了条件の充足によって完了する予定である。

アメロン社のパフォーマンスコーティング事業部門は、約700人の従業員を擁し、2005年の売上高は2億1000万ドル(約231億円)。買収価格は1億1500万ドル(約127億円)で、運転資本調整が行われる。同社は、米国、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランドに製造拠点をもち、そのほかに全世界に倉庫や事業所を保有している。その一部は、買収後もアメロン社が保有する。今回の合意内容には、このほかにアメロン社が保有するOasis-Ameron, Ltd.(サウジアラビア)の株式(40%)が含まれている。ただし、この株式譲渡には、同社株主の過半数の賛成による承認を必要とする。今回の買収により、PPGの重防食塗料事業はヨーロッパとオーストラリアに拡大し、同社は船舶用塗料市場にも参入できるようになる。

それに加えて、PPGは、ドンジュ・インダストリアル社(Dongju Industrial Co., Ltd.)の株式の50%を同社会長Yeong Kil Sohnを始めとする同社の共同経営者から追加取得した。PPGは、1985年以来、ドンジュ社の50%の株式を保有しており、この投資は持分法によって会計処理されている。同社は、韓国国内で新車用塗料(OEM塗料)、補修用塗料、工業用塗料、容器用コーティング剤の各分野に参入しており、チョンアンとプサンに製造拠点がある。ドンジュ社の買収条件は公表されていない。

PPGの予想によれば、今回の2社の買収により、決算報告における塗料の年間売上高は約4億ドル増加し、前年比7%増となる。

「今回の買収には、塗料事業を重視し、新規市場や新興成長領域への進出を目指す弊社の戦略がはっきりと示されています。この2社は、弊社の既存の塗料事業を補完し、今後の成長を加速させるための土台となります。アメロン社の能力、技術やブランドネームにより、弊社は重防食塗料分野でのプレゼンスを世界的に示せるようになり、今後、船舶用塗料市場へも参入できます。また、ドンジュ社の株式を100%取得したことで、アジアの塗料市場でのプレゼンスを強化し、この地域でのサプライチェーンの効率を大いに高めることができます。」PPGの会長兼最高経営責任者チャールズ・バンチは、以上のように語った。

PPG(本社:米国ピッツバーグ)は、世界でトップクラスの自動車用塗料メーカーであり、工業用塗料、容器用コーティング剤のグローバルサプライヤーである。また北米を中心とする建築用塗料のリーディングカンパニーでもある。このほかにも同社では、板ガラスや加工ガラス、ガラス繊維(連続ストランド)や化学品を製造している。2005年の売上高は102億米ドル(約1兆1,200億円)。